



平成27年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エスプール

コード番号 2471 URL <http://www.spool.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 浦上 壮平

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当

(氏名) 佐藤 英朗

TEL 03-6859-5599

四半期報告書提出予定日 平成27年10月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年11月期第3四半期の連結業績(平成26年12月1日～平成27年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年11月期第3四半期	5,238	8.0	△59	—	△66	—	△124	—
26年11月期第3四半期	4,849	22.6	155	179.9	147	232.3	121	251.3

(注) 包括利益 27年11月期第3四半期 △124百万円 (—%) 26年11月期第3四半期 121百万円 (248.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年11月期第3四半期	△41.32	—
26年11月期第3四半期	44.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年11月期第3四半期	2,428	608	24.8	200.27
26年11月期	2,155	756	35.1	251.66

(参考) 自己資本 27年11月期第3四半期 601百万円 26年11月期 755百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年11月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年11月期	—	0.00	—	—	—
27年11月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年11月期の連結業績予想(平成26年12月1日～平成27年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,518	13.8	150	△27.2	140	△26.8	66	△59.7	22.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年11月期3Q	3,003,400 株	26年11月期	3,003,400 株
27年11月期3Q	62 株	26年11月期	62 株
27年11月期3Q	3,003,338 株	26年11月期3Q	2,758,801 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、食品の値上げ等による国内消費の不振と海外需要の減速による輸出の落ち込みにより平成27年4～6月期の国内総生産の速報値が3四半期ぶりのマイナス成長になる等、国内景気は一時的な踊り場にありますが、中期的には概ね持ち直しの動きが続いております。雇用情勢についても、このような緩やかな景気回復を背景に人材不足感が継続しており、厚生労働省が発表した平成27年8月の全国の有効求人倍率は1.23倍と、1倍を超える高水準な状況が1年以上続いております。幅広い業種で求人が増加し、特に最近では医療・福祉、宿泊業・飲食業・小売業等のサービス業において求人数が増加しております。

このような環境の下、当社グループは、当連結会計年度の事業方針である、コアマーケットの深耕・主力事業の再強化と新たな収益の柱の構築の2点に絞って事業を推進しております。主力事業については、企業業績が回復していることもあり、人材派遣サービスを中心に需要が好調に推移し、売上が順調に拡大しました。一方、損益面については、主力事業の業容拡大と新規事業の強化のために積極的に人員を増員したこと、及び平成27年7月より開始したスマートメーター設置業務に係る先行支出があったこと等により、ビジネスソリューション事業において大きく悪化しております。また、平成27年8月に実施した本社移転に係る減損損失等の本社移転費用36,813千円を特別損失に計上しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,238,044千円（前年同四半期比8.0%増）、営業損失は59,109千円（前年同四半期は155,301千円の営業利益）、経常損失は66,063千円（前年同四半期は147,696千円の経常利益）、四半期純損失は124,100千円（前年同四半期は121,663千円の四半期純利益）と増収ながら営業損益以下、損失を計上することとなりました。

平成27年11月期第3四半期連結累計期間 連結業績

(単位：千円)	平成26年11月期 第3四半期	平成27年11月期 第3四半期	増減率
売上高	4,849,077	5,238,044	8.0%
営業損益	155,301	△59,109	－%
経常損益	147,696	△66,063	－%
四半期純損益	121,663	△124,100	－%

当第3四半期連結累計期間のセグメント業績（セグメント間内部取引消去前）は以下のとおりであります。

①ビジネスソリューション事業

株式会社エスプールロジスティクスにてロジスティクスアウトソーシングのサービスを、株式会社エスプールプラスにて障がい者雇用支援サービス及び付随する農園運営事業を、株式会社エスプールエンジニアリングにてフィールドマーケティングサービスを、株式会社エスプールセールスサポートにてマーチャンダイジング及び販売促進等のサービスを提供しています。

当第3四半期連結累計期間においては、主力のロジスティクスアウトソーシングサービスが順調に拡大しました。通販事業者向けの共同配送センターが満床に近い状態で稼働したほか、訪日客増加の影響で百貨店向けの物流センターの物量が増加したため、売上が大きく伸張しました。また、グループ内の業務を集約したセールスサポート関連のサービスも順調に拡大しました。一方、前述のスマートメーター設置業務については、平成27年7月の業務開始前の人件費、採用費、研修費、拠点設置費用、備品費等の先行支出に加え、稼働後も業務開始当初で効率が採算が合う段階まで至らず、大きな損失を計上しております。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,137,554千円（前年同四半期比8.9%増）、営業利益は18,848千円（前年同四半期比90.4%減）となりました。

②人材ソリューション事業

株式会社エスプールヒューマンソリューションズにおいて、人材派遣、人材紹介等、人材に係わるサービスを提供しています。

当第3四半期連結累計期間においては、企業の人材不足感が継続しており、主力のコールセンター業務において需要が好調に推移しました。一方、携帯電話販売業務においては抵触日を迎えた現場の穴埋めを新規現場で賄うことができず、伸び悩みました。損益面においては、積極的に人材紹介を行なったため、売上総利益率がやや改善傾向にあります。販売費及び一般管理費については、事業の拡大に伴い人員を中心に組織強化を図ったため増加しておりますが、増収効果によりその増加分を吸収しております。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,129,728千円（前年同四半期比5.9%増）、営業利益は255,181千円（前年同四半期比6.5%増）となりました。

平成27年11月期第3四半期連結累計期間 セグメント別業績

売上高（単位：千円）	平成26年11月期 第3四半期	平成27年11月期 第3四半期	増減率
報告セグメント	4,917,122	5,267,282	7.1%
ビジネスソリューション事業	1,962,433	2,137,554	8.9%
人材ソリューション事業	2,954,689	3,129,728	5.9%
調整額	△68,044	△29,238	－%
合計	4,849,077	5,238,044	8.0%

営業利益（単位：千円）	平成26年11月期 第3四半期	平成27年11月期 第3四半期	増減率
報告セグメント	435,333	274,030	△37.1%
ビジネスソリューション事業	195,665	18,848	△90.4%
人材ソリューション事業	239,667	255,181	6.5%
調整額	△280,031	△333,139	－%
合計	155,301	△59,109	－%

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末から274千円増加し、1,740,042千円となりました。当第3四半期連結累計期間の四半期純損失等により現金及び預金が69,033千円減少しましたが、売上が拡大基調にあり売掛金が24,745千円増加したほか、法人税等や消費税等の中間納付等によりその他流動資産が37,741千円増加しております。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末から272,717千円増加し、688,475千円となりました。障がい者雇用支援サービス拡大のため、株式会社エスプールプラスにて新農園を建設しており、また、本社移転を行ったことから有形固定資産が208,529千円増加しました。これらに加え、本社移転に係る敷金の支払があったため、敷金及び保証金が60,285千円増加しております。

②負債

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末から345,778千円増加し、1,602,603千円となりました。スマートメーター設置業務の先行支出等に備えて短期借入金を360,000千円借り増ししておりますが、納税により未払法人税等が39,148千円、未払消費税等が67,697千円、それぞれ減少しております。また、この他に未払費用が52,074千円増加しております。

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末から75,080千円増加し、217,496千円となりました。新規借り入れにより、長期借入金が57,585千円、株式会社エスプールプラスの新農園建設により、資産除去債務が18,163千円、それぞれ増加しております。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、配当の支払及び四半期純損失等により147,865千円減少し、608,419千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間につきましては、スマートメーター設置業務の稼働前先行支出や稼働初期の低効率により営業損益以下、損失を計上しておりますが、概ね計画どおりに推移しております。今後につきましても、期初方針に従い、主力3事業の拡大とスマートメーター設置業務の早期黒字化を粛々と実行していく予定であり、現時点におきまして連結業績予想については前回発表の水準になるものと判断しております。

従いまして、平成27年7月2日に修正いたしました平成27年11月期通期連結業績予想については、変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	819,288	750,255
受取手形及び売掛金	778,561	803,307
商品	6,937	10,911
仕掛品	508	787
その他	145,718	183,460
貸倒引当金	△11,246	△8,679
流動資産合計	1,739,767	1,740,042
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	215,090	366,301
その他(純額)	61,562	118,880
有形固定資産合計	276,652	485,182
無形固定資産		
無形固定資産	45,550	51,418
投資その他の資産		
その他	124,083	179,850
貸倒引当金	△30,528	△27,976
投資その他の資産合計	93,555	151,874
固定資産合計	415,758	688,475
資産合計	2,155,525	2,428,518
負債の部		
流動負債		
買掛金	105,620	130,781
短期借入金	310,000	670,000
1年内返済予定の長期借入金	75,270	78,780
未払法人税等	47,694	8,545
未払費用	338,793	390,867
賞与引当金	8,148	16,294
役員賞与引当金	14,600	—
その他	356,698	307,333
流動負債合計	1,256,825	1,602,603
固定負債		
長期借入金	109,430	167,015
資産除去債務	26,353	44,517
その他	6,632	5,964
固定負債合計	142,415	217,496
負債合計	1,399,241	1,820,099
純資産の部		
株主資本		
資本金	351,138	351,138
資本剰余金	201,138	201,138
利益剰余金	202,797	48,664
自己株式	△53	△53
株主資本合計	755,020	600,887
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	809	601
その他の包括利益累計額合計	809	601
新株予約権	454	6,930
純資産合計	756,284	608,419
負債純資産合計	2,155,525	2,428,518

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年8月31日)
売上高	4,849,077	5,238,044
売上原価	3,650,337	4,024,179
売上総利益	1,198,739	1,213,865
販売費及び一般管理費	1,043,438	1,272,974
営業利益又は営業損失(△)	155,301	△59,109
営業外収益		
受取利息	249	293
受取手数料	336	805
還付消費税等	1,358	—
受取保険料	4,011	—
その他	140	112
営業外収益合計	6,097	1,211
営業外費用		
支払利息	10,279	7,153
社債利息	135	—
持分法による投資損失	2,143	210
その他	1,144	802
営業外費用合計	13,703	8,165
経常利益又は経常損失(△)	147,696	△66,063
特別損失		
固定資産除却損	288	2,642
本社移転費用	—	36,813
特別損失合計	288	39,455
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	147,407	△105,519
法人税、住民税及び事業税	33,376	20,285
法人税等調整額	△7,632	△1,705
法人税等合計	25,744	18,580
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	121,663	△124,100
四半期純利益又は四半期純損失(△)	121,663	△124,100

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年12月1日 至 平成27年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	121,663	△124,100
その他の包括利益		
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△208
その他の包括利益合計	—	△208
四半期包括利益	121,663	△124,308
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	121,663	△124,308
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年12月1日至平成26年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネスソリューション 事業	人材ソリューション 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,946,717	2,902,360	4,849,077	—	4,849,077
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	15,716	52,328	68,044	△68,044	—
計	1,962,433	2,954,689	4,917,122	△68,044	4,849,077
セグメント利益	195,665	239,667	435,333	△280,031	155,301

(注) 1. セグメント利益の調整額△280,031千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△279,387千円及びセグメント間取引消去△644千円であります。全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年12月1日至平成27年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネスソリューション 事業	人材ソリューション 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	2,125,345	3,112,699	5,238,044	—	5,238,044
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	12,209	17,028	29,238	△29,238	—
計	2,137,554	3,129,728	5,267,282	△29,238	5,238,044
セグメント利益	18,848	255,181	274,030	△333,139	△59,109

(注) 1. セグメント利益の調整額△333,139千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△332,207千円及びセグメント間取引消去△931千円であります。全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。